

伊豫國「あじの郷」づくり

1

誇りある歴史と豊富な地域資源を融合させたまちづくり

合併から5年目を迎えた「新伊予市」。市では、伊予・中山・双海それぞれ地域の特性を生かして、市全体の活性化へつなげていくための取り組みを行っています。

その一つとして、誇りある歴史と豊富な地域資源を融合させたまちづくり「伊豫國「あじの郷」づくり構想」が始まっています。

今回は、昨年6月に設立された「伊豫國「あじの郷」づくり実行委員会」委員長の玉井彰さんにお話を伺いました。



実行委員会委員長
玉井 彰 さん

伊豫國「あじの郷」づくりとは
どういったまちづくりですか？

市民がまず、自分たちの住む地域の伝統、歴史、文化を知ること

誇りと自信を持ち、「伊豫國」という形で発信しながら、地域の活性化や産業の振興につなげていこうというものです。

「あじ」とは「グルメ」であり、「味な」「気の利いた」でもあります。伊予市の歴史と豊かな地域資源を生かして、食文化、食育、新たな郷土料理の創造、地産地消といった「あじ」にまつわるさまざまなアプローチから「ひと味」違ったまちづくりを行います。

伊豫國「あじの郷」づくり実行委員会の組織・運営は？

市からの声かけもあり、各地域で食やまちづくりに関わっている人企業、そして住民自治組織の代表者などが集まり組織されました。専門のアドバイザーや市の有識職員も加わり「食育・食文化推進」「伊豫ブランド創設」「イベント等啓発推進」の3つのグループに分かれて運営しています。行政の力(情報収集能力、事



務能力、社会的信用などを活用しながら、民間の委員が主体となり、市民と行政の協働による新たなまちづくりを目指します。具体的な取り組みとしては、

- ①食育・食文化の研究と実践
- ②地産地消・地域内消費の推進
- ③新産業・新製品開発の基盤整備と販路拡大の模索
- ④新たな観光交流イベントの実施
- ⑤地域資源となる人材(人材)の育成などを想定しています。

市民の皆さんに伝えたいことは？

この4月号を皮切りに、本委員会についての情報を随時お知らせします。市民の皆さんに本委員会の存在をまず知っていただき、関心を持ち、参加していただきたいと思います。

より多くの方々が意見や情報を交換し、新たな発見や取り組みを行うことで、新伊予市としてのまとまりが生まれ、産業・教育・地域コミュニティが活性化することを期待します。